



## 学校教育目標

心豊かに たくましく生きる子どもを育てる

### めざす子ども象

- ・思いやりのある子
- ・たくましい子
- ・助け合う子
- ・よく考える子
- ・進んでやる子

### 児童の実態

- ・算数の学力に個人差があり、二極化している。
- ・主体的に取り組むのが苦手である。
- ・基礎力はあるが、応用力が低い傾向がある。

研究主題

『一人一人により確かな力をつける学習指導のあり方』  
～自ら考え表現し、学び合う力を高める算数科の授業づくり

- 仮説1：学年間・単元間の系統性を重視し、既習事項を明確にした指導を展開することにより、基礎的・基本的な知識や技能が修得されるのではないかと。
- 仮説2：算数的活動の場を充実させることにより、児童が主体的に考え、見通しをもって課題解決に取り組むことができるのではないかと。
- 仮説3：学び合うための力（伝える・受け止める・練り合う）を身につけさせることにより、理解をより確かなものにするのではないかと。

### 「基礎基本」の定着（視点1）

- ・学習規律
- ・学びのための学習プロセス
- ・既習事項の定着

研究の継続性  
論理的に考える力

研究の継続性  
伝え合い

### 考える力 （視点2）

#### 自力解決の場面

- ・的確な課題の把握と解決の見通し
- ・効果的な算数的活動（様々な課題解決へのアプローチ、ノートづくり）

### 学び合う力 （視点3）

#### 交流の場面

- ・わかりやすく伝える力（整理、筋道・根拠）
- ・交流形態の工夫
- ・互いの考えの相違点を意識
- ・個々の考えのつなげ、深く考える

思考力・判断力・表現力

## めざす子どもの姿

- ・自分なりの考えをもち、豊かに表現することができる子ども
- ・学び合うことにより、理解を深めることができる子ども